

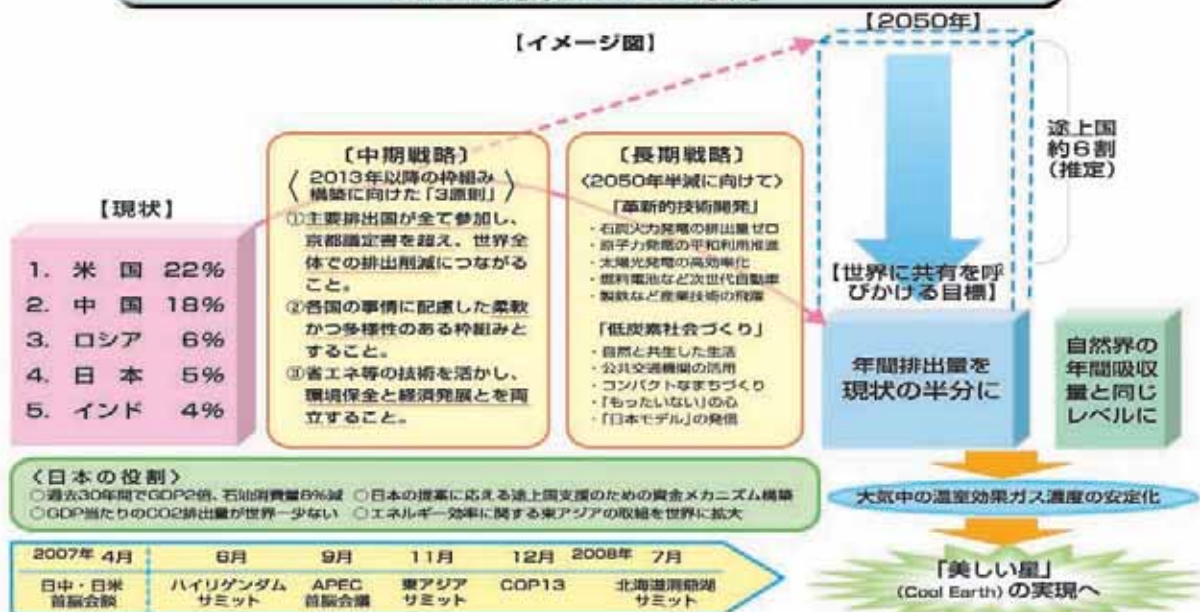
3 今後1、2年で重点的に着手すべき八つの戦略



気候変動問題の克服に向けた国際的リーダーシップ

「世界全体の排出量を現状に比して2050年までに半減する」という長期目標及びその実現に向けての「革新的技術の開発」とそれを中核とする「低炭素社会づくり」という長期ビジョン、2013年以降の国際枠組み構築に向けた「3原則」、京都議定書の目標達成に向けた国民運動の展開からなる新提案を行い、新たな国際的な枠組みづくりに貢献するとともに、京都議定書の目標達成のための国内対策の充実を図ります。

美しい星へのいざない「Invitation to "Cool Earth 50"」 ～3つの提案、3つの原則～



ライフスタイルを見直し、1人1日1kgのCO2削減を目指す国民運動

我が国のCO₂排出量は、家庭部門で37.4%の増(1990年比)[2005年度排出量:1億7500万トン]となっており、2010年までの削減目標量は、3,800万トン。これを実現するためには、一人ひとりが日常のライフスタイルを見直し、家庭や職場でできる温室効果ガス削減の取組の輪を広げていく必要があります。例えば、下記の取り組みを全て実践すると、年間1世帯当たり約569kg(1人1日では約1.610g)の削減が可能です。政府は国民運動の展開に全力をあげていきます。「チーム・マイナス6%」に国民の皆様の手を貸して下さい。

（1人1日での削減量）

1kg (サッカーボール約100個分) (換算)

- 38g: 【温度調節で減らそう】冷房28℃、暖房20℃にしよう
- 74g: 【水道の使い方で減らそう】蛇口はこまめにしめよう
- 104g: 【商品の選び方で減らそう】エコ製品を選んで買おう
- 132g: 【自動車の使い方で減らそう】エコドライブをしよう
- 45g: 【買い物とゴミで減らそう】過剰包装を断ろう
- 42g: 【電気を使い方で減らそう】コンセントからこまめに抜こう
- 62g
- 52g
- 64g
- ...

【オアシスで】(1) エアコンの設置場所をターゲットに開始(2006年度)前より上げている割合「約2%」

(2) CO₂削減量の推計

→日本全体で約114万トンのCO₂削減(6～9月)

【エアコン】

42%の効率改善(1997年度～2006年度)

→1人1日74gの削減(1世帯1年間で約97kgの削減)

【冷蔵庫】

55%の効率改善(1994年度～2006年度)

→1人1日49gの削減(1世帯1年間で約92kgの削減)

【照明】

最も買い替えやすいものとして、照明のうち、「白熱電球」を「電球形省エネランプ」に交換

→1人1日49gの削減(1世帯1年間で約92kgの削減)

消費電力最大で1/5

【日本国民全員が週に1枚レジ袋を断った場合】

→日本全体で約36万トン(年)のCO₂削減

※ 温室効果ガス削減のための国民運動の展開は、上記のような家庭部門での取組だけでなく、職場部門(オフィスビル等)でもしっかりと進めていく必要があります。

公認したアイデアなどにより更に削減を目指します

＜CO₂削減量＞「身近な地球温暖化対策～家庭でできる10の取組編～」(環境省)より